

<総計欄> 9月の仕入量は 170,151 トン前月比+16.7%、前年同月比-5.5%、販売量は 165,962 トン前月比+15.0%、前年同月比-11.6%。仕入量、販売量ともに前月比著増、前年同月比では仕入量は減少、販売量は著減しました。在庫量は 205,971 トン前月比+2.1%、前年同月比-12.8%、在庫量は前月比増、前年同月比は著減しました。在庫率は 124.1 ポイントと下降しました。

2020年度第2四半期の販売量は 477,166 トン。前期比 1.2%減、前年同期比 14.0%著減。新型コロナウイルスの影響が続いており、いまだ販売量は回復せず最低水準の数字となっています。

建築物件の減少が目立っており、例年の秋需らしさがほとんど感じられません。土木関連で新規案件が多少入ってきているものの例年より悪く、メーカー値上げのため価格転嫁による慎重な販売姿勢が求められています。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼 16.1%著増、東京 12.8%著増、大阪 18.0%著増、愛知は 35.4%著増しました。H形鋼は 13.5%著増、東京 12.0%著増、大阪 13.6%著増、愛知 15.5%著増となっています。その他品種では山形鋼 18.6%著増、溝形鋼 20.5%著減、コラム 6.0%減少、C形鋼 17.4%著増しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼 1.3%増加、東京 5.3%増加、大阪 4.6%減少、愛知 1.0%減少しています。H形鋼は 3.6%増加、東京 2.0%増加、大阪 3.5%増加、愛知 6.8%増加しています。その他品種は山形鋼 0.2%微減、溝形鋼 0.9%微減、コラム 6.9%増加、C形鋼 3.4%減少となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

■ 販売量 □ 在庫量 ● 三品種市況

